

令和4年12月5日

各 位

学校法人愛知学院利益相反マネジメント委員会

委員長 藤村 信隆

研究活動に係る利益相反自己申告書の提出について（依頼）

平素より本学院の研究活動にご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「研究活動に係る利益相反自己申告書」は本学（大学・短期大学部）の教員が研究活動を行う上で、教員の研究活動の状況を本学院が把握し、利益相反問題に適切に対応するための基礎資料として、自主的に提出していただくものです。

研究活動は、大学が社会からの要請に応じて社会における様々な課題の解決に貢献していくための手段のひとつであります。一方、利益相反は大学が研究を推進し、社会連携を行うなかで必然的に生じるものであります。したがって、利益相反に適切に対処することは、大学が社会からの信頼を維持し、教員の名誉を確保していくために不可欠の活動であるといえます。

利益相反マネジメントにおいては、個人的な利益を報告したり、委員会の審査を受けたりすることが伴うため、教員にとっては負担に感じられるかと思いますが、本学院が教員の名誉を守るためのものであり、安心して研究活動に打ち込める環境の基盤を作るための活動であることを、ご理解いただき、下記のとおり自己申告書を提出していただきたく、よろしくお願い申し上げます。

提出いただきました自己申告書に基づき、本学院利益相反マネジメント委員会が、専門的な立場から分析し、安心して研究に打ち込める環境を形成することを目的としていますので、内容に洩れがないようご記入いただきますよう、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

なお、当該自己申告書は、機密資料として管理し、学校法人愛知学院利益相反マネジメント規程第19条に則り秘密保持いたします旨、申し添えます。

記

- (1) 対象者：常勤・非常勤を問わず本学（大学・短期大学部）において研究活動を行っている者（専任教員は必須）
- (2) 提出期限：令和4年12月23日（金）
- (3) 提出先：研究推進・社会連携部 研究支援課
- (4) 提出方法：封書（密封）による提出

【本件担当】

研究推進・社会連携部 研究支援課 利益相反マネジメント係

内線：日進 1133、1134 藤井、元平

E-mail：shien-c@dpc.agu.ac.jp